

平成 26 年度 事務事業評価シート 新規 継続 変更

一般ソフト事業 施設等維持管理 行政事務

Table with 6 columns: 事務事業名, 会計名称, 総合計画での位置づけ, 事業の性格, 事業の対象, 事業の目的. Includes details for 'Recycling Activity Promotion Project'.

Table with 10 columns: 事業費及び財源内訳 (千円), 事業活動の実績 (活動指標). Includes financial breakdown and performance metrics.

Table with 6 columns: 向こう5年間の直接事業費の推移 (千円), 27年度, 28年度, 29年度, 30年度, 31年度, 5年間の合計.

Table with 6 columns: 成果指標, 指標設定の考え方, 区分年度, 実績, 目標. Includes a graph showing recycling rate trends.

今年度の課題への対応状況 (途中経過)

Large table for self-evaluation (自己評価) and secondary evaluation (二次評価) with multiple rows for different criteria like 'appropriateness', 'effectiveness', 'efficiency'.

事務事業名	リサイクル活動推進事業	予算事業名		担当課	町民生活課
会計名称	一般会計	予算科目	4 款 3 項 1 目	所属長名	森 裕子
総合計画での位置づけ	豊かな自然と暮らしの便利さが調和したまちをつくる 便利な都市環境をつくる			担当責任者名（記入者）	國崎 和幸
				電話番号（内線）	
事業の性格	<input checked="" type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 法定事務		法令根拠等	容器包装リサイクル法、家電リサイクル法	
事業の対象	町内で排出される資源ごみなど		実施期間	【開始年度】	平成 -1988 年度
				【終了年度】	平成 年度(予定) <input checked="" type="checkbox"/> 設定なし
事業の目的	廃棄される資源ごみを回収し再利用することで資源を有効に活用する		事業の内容	分別回収等	
改善策の具体的な取り組み（当初）	本年度から、ダンボールの回収を庁舎倉庫にて開始。		改善策の具体的な取り組み（二次評価後）	ダンボール専用回収場所の設置により、一般可燃ごみの減量を図る。	

（自己評価） 担当者評価	妥当性	目的の妥当性	3	C	C	3	目的の妥当性	妥当性	一次評価		
		町民ニーズへの対応	3				3			町民ニーズへの対応	
		町の関与の妥当性	3				3			町の関与の妥当性	
	有効性	事業の効果	2	C		3	事業の効果	有効性			
		成果向上の可能性	3				3			成果向上の可能性	
		施策への貢献度	3				3			施策への貢献度	
	効率性	手段の最適性	2	D		C	3	手段の最適性		効率性	
		コスト効率	2					2			コスト効率
		受益者負担の適正	3					3			受益者負担の適正
課題認識	ダンボールの庁舎回収を初めたが、集団回収のダンボール量が減ったようで、期待した効果が出ていないかもしれない。				リサイクル推進活動は大事なことだが、コストの関係を考えながら、分別品目の拡大を考えていく必要がある。						
	自己評価は、担当者が主に事業推進を効率的効果的に進めたかどうかを評価したもの。 一次評価は、担当者の自己評価を踏まえて施策の推進を念頭に置き、所属長が評価したもの。										

施策を踏まえた判断	二次評価（所属長）	<input checked="" type="checkbox"/>	一次評価結果より以下の点について良好と評価し、更なる事業推進を求める。 リサイクル活動は今や常識となっており、ごみ減量や住民のリサイクル活動を望む期待には応えていくことが必要と考える。今後事業所等にも協力をいただきリサイクル品目を増やしていく必要性を感じる。	指摘事項を踏まえ、事務改善、事業推進に努め、今年度の事務事業評価シートに反映させること。	
		<input type="checkbox"/>	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。		
		<input type="checkbox"/>	一次評価結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。		
		<input type="checkbox"/>	一次評価は以下の点で問題がある又は判断されるため、一次評価の見直しを求める。		一次評価をやり直し、 月 日 までに事務局へ提出すること。
		<input type="checkbox"/>	町民サービスに直結する主要事業のため、評価そのものを行政評価委員会に諮ることとする。		行政評価委員会で評価する。 答申期限： 月 日
		<input type="checkbox"/>	一次評価結果のとおり事業縮小と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。		
<input type="checkbox"/>	一次評価結果のとおり事業廃止と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。				

行政評価委員会の答申	外部評価	答申の内容 ○ごみ減量のための教育に取り組んでもよいのではないかと。 ○ごみ袋が高いという声があるので、価格設定などについて理解が得られるような広報活動を行う必要がある。 ○コストがかかっているのであれば、下げる努力は必要である。 ○指標について、コストに対する指標を設けてもよいのではないかと。
------------	------	--

経営者会議の最終判断	ごみ袋代が高いとの意見があるが、他市町と本町のごみ袋代の差額は、処理費用を税金で補うか、ごみ袋代に含め個人が負担するかの違いである。そこを周知し、理解を得る必要がある。 また、努力次第でごみは減らすことが可能であるから、減量化にむけた教育を併せて検討する。
------------	---